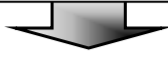


【燕市学校教育の重点】
生きる力がみなぎる燕の子ども



教育目標

【教育目標】 高い知性と豊かな心を持ち、心身ともにたくましい生徒になろう
【目指す生徒像】 目標をもって努力し、仲間と共に高め合って伸びていく生徒

知育

他とかかわり、より確かな学びを追求する生徒

1 成果目標

- (1) 「郷土の素晴らしさを見付け、誇りに思う」生徒が80%を上回る。
- (2) 「授業が分かり」「課題ができる」生徒が80%を上回る。
- (3) 発表やグループ活動の場面で、自分の考えや立場を伝えることができる生徒が80%を上回る。
- (4) 家庭学習を毎日「学年×10分間以上」できる生徒が70%を上回る。

学び合いの中で思考を深め、広げる生徒を育てる

2 教育活動

- (1) 郷土に誇りと愛着をもち、守り、受け継ぎ、発展させようとする態度を育成する。
 - ① 燕市、校区内の特色、産業などを学ぶ「総合的な学習の時間」
 - ② 地域の人材活用と体験活動の継続（外部講師による指導、職場訪問、放課後学習等）
- (2) 「目指す子ども像」を明確にした単元指導計画と授業改善により、単元の目標と評価、指導が一体化した、主体的・対話的で深い学びを実現する。
- (3) 最終的にどの生徒も自分の考えをもち、発表することができる発問や解決の手立ての工夫が明確にあり、効果が目に見える指導計画を立てる。
- (4) 対話をする場面では比較材料を提示し、生徒を触発することで、認識が拡大し、思考が深まり、何を学んだかが分かる授業を行う。
- (5) 切れ目のない学びを継続する。
 - ① 「学習課題の提示」→「中心発問」→「まとめ」→「振り返り」のある授業の実践
 - ② 「事前指導」→「調査、検査」→「補充学習」を連続し確実な定着
 - ③ 子どもが効果を感じる宿題、課題とそれを活用する授業の実践

徳育

他と助け合い、よりよいものを求める生徒

1 成果目標

- (1) 誰とでも仲良く勉強や活動ができ、人間関係づくりの能力など社会性を身に付けている生徒が80%を上回る。
- (2) 仲間との関わり合いや交流活動が楽しいと感じる生徒が80%を上回る。
- (3) 明るくあいさつや返事ができる生徒が80%を上回る。
- (4) 相手の立場や気持ちを考えて接し、困っている人を助けるために行動できる生徒が80%を上回る。
- (5) 上級学校訪問や職場訪問をしてよかったと答える生徒が80%を上回る。

社会性を育み、故郷を愛する豊かな心もつ生徒を育てる

2 教育活動

- (1) 社会的なスキルを身に付け、人間関係づくりの能力を高める。
 - ① いじめをしない、許さない意識の醸成
 - ② 命を大切にすることの意識の醸成
 - ③ 自己表現力と傾聴する態度の育成
- (2) 生活、特別活動、総合的な学習の時間、道徳、各種教育を関連付け、地域における体験や校外学習などを通して、自己肯定感や達成感、故郷を愛する心を育てる。
 - ① 燕市の歴史や産業を学ぶ講演会
 - ② 燕市内での職場訪問
 - ③ 市外、県外での燕市の産業についての学習
 - ④ 上級学校訪問で将来の進路を考える学習
- (3) 学校行事や生徒会活動で実施する交流活動や体験で、生徒一人一人の役割を明確にして、自己有用感や満足感を高める。
- (4) 年間35時間の道徳の授業を確実にを行い、問題解決的な資料を扱うとともに、道徳的行為に関する体験的な学習を計画的に適切に実施する。

体育

命を大切にし、自律的に生活習慣を改善する生徒

1 成果目標

- (1) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力テストにおいて、70%以上の種目で県平均を上回る。
- (2) 望ましい基本的な生活習慣を育成するため、「早寝早起き朝ごはん」について、生徒の肯定的評価が80%を上回る。
- (3) メディアの適切な利用、生活管理の調査において、家庭のきまりを守り、目標を達成した生徒が80%を上回る。

健康増進と体力向上に粘り強く努力する生徒を育てる

2 教育活動

- (1) 体育の授業や昼休み、部活動等で、体を動かすことの楽しさを実感し、運動に苦手意識をもたせないよう、達成感や練習すればできるという自信を体感できる取組を推進する。
- (2) 生徒の運動能力や技能の程度に応じて、個別に練習に取り組める場を設定したり、弾力的にルールを適用したりして、生徒の課題解決への意欲を高めるとともに種目の持つ特性や魅力に触れ、運動の楽しさや喜びを味わうよう工夫する。
- (3) 体育の授業で指導する種目を通して、仲間の大切さを実感することや、保健の授業で学習した健康管理、危機管理等に関することを、実生活で生かすよう指導する。
- (4) 命を大切にし、健全な生活を送るために大切なこと（交通安全、メディアの適切な利用）を学び、実践する。危機意識と自己管理能力の育成のため、生徒の個別指導と家庭への啓発に取り組む。
- (5) 健康診断や検診、学校保健委員会での学校医、学校歯科医、学校薬剤師の指導を受けて、広報活動や治療勧告に粘り強く取り組み、家庭や地域との連携、協働を推進する。

連携・協働による地域とともにある学校づくりの推進		
1 小中連携の推進	2 家庭との連携の推進	3 地域との連携の推進
<ul style="list-style-type: none"> (1) 小中共同課題である「学力向上」「キャリア教育の充実」を推進する。 (2) 「学力向上」「豊かな心」「生活習慣」の3つで、小中9年間で育てたい力を明確にし、育成に取り組む。 (3) 小中連携事業を計画的に実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ① いじめ見逃しゼロプロジェクト ② 家庭学習強調週間 ③ キャリア・パスポートの活用 (4) 小中合同研修で、相互の教育活動（教科、道徳、特別支援教育、キャリア教育など）の課題を協議して連携を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生徒と保護者が協働する機会を設定し、活動を充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> ① グラウンド環境整備作業 ② PTA学年行事 等 (2) 次のことを実施し、家庭と連携して生徒の成長を支える。 <ul style="list-style-type: none"> ① 期末保護者会（個別面談） ② 学年懇談会 ③ 部活動保護者会 (3) 「元気アップ週間」を実施し、家族とともにメディア・コントロールと望ましい生活習慣を実行し、身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 燕市交通安全協会等と連携し、次のことに取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ① 生徒の通学の安全 ② 交通安全教室 (2) 地域学校協働本部を活用し、地域と連携した教育活動を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 「総合的な学習の時間」、道徳、特別活動、キャリア教育での地域人材の積極的活用 <ul style="list-style-type: none"> ア 講演会、体験活動の講師 イ 職場体験学習 ② フラワーロードの実施 ③ 地域学校協働活動の充実